

2013年9月号(第58号)

発行/企画 社協・編集会議

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25
TEL：045-866-8434
FAX：045-862-5890
E-mail：info@totsukashakyo.com

社協とつか

じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金に ご協力をお願いします！

募金期間

10月1日～12月31日

共同募金のこと、どれくらいご存知ですか？
全部わかったら共同募金通！^っ



共同募金クイズ！

Q₁

赤い羽根共同募金は、年に、市民が主体
の取り組みとしてスタートしました。

1. 1900 (明治38)
2. 1947 (昭和22)
3. 2003 (平成15)

Q₂

赤い羽根共同募金で応援している、市民が
行う地域福祉活動の件数は、全国で年間
件です。

1. 約7千
2. 約7万
3. 約7億

Q₃

共同募金のつかいみちとして、
がおきた時にも使われて
います。

1. 豪雨
2. 地震
3. 台風

答えは中面で！



A1

正解2

赤い羽根共同募金は、1947年（昭和22年）に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。

60年以上たった今、社会が大きく変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。

赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」です。

A3

1～3すべて正解です。

災害にも共同募金は使われています。

大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。

○今年度、横浜市の共同募金PR大使は
野毛山動物園のキリン“テビチさん”
“ソラくん”に決定しました。

今年度の募金バッジのデザインにもキリンが
あしらわれます。

※募金バッジは、戸塚区内では戸塚区社会福祉協議会の窓口などでお渡ししています。その際、500円以上のご寄付をお願いしております。



共同募金PR大使

○赤い羽根共同募金として皆さまからいただいた募金は、身近な地域で“じぶんの町を良くするしくみ”として活用されています。今年も皆さまのご協力をお願いいたします。

A2

正解2

全国で年間約7万件の市民が担う地域福祉活動を応援しています。

共同募金の助成は、高齢者食事会の運営などのボランティア活動の費用から、障がい者作業所の車の整備・社会福祉施設の改修まで、さまざまな民間社会福祉活動を支援しています。

戸塚区では地区社会福祉協議会への助成や、非営利な地域福祉事業・障がい福祉推進事業の助成を目的とした戸塚区ふれあい助成金として平成24年度は107団体の支援を行いました。

ちいさな地域でも、共同募金の助成金により実施されている活動は数多くあります。ひとつひとつの使いみちについては、WEBにて公開しています。データベース「はねっと」でご覧いただけます。http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do

戸塚区ふれあい助成金では、このような活動を支援しています。

汲沢地区 “汲沢ふれあい会食の会”

取材／社協とつか編集委員

6月4日午前10時、取材のために汲沢地域ケアプラザを訪れました。この会食会は汲沢地区にお住まいの「65歳以上で介護を必要としない一人暮らしの方」50人を対象としていて、毎月第一火曜日に実施され、10年以上も続いています。

この日も、調理室では既に民生委員児童委員の皆さんが、食事作りに腕をふるっていらっしゃいました。

おいしい食事ができるまで、介護予防体操を1時間ほど行くと、時刻はちょうど12時になり、色とりどりのお料理をみんなで楽しくいただきました。



おいそな料理の数々が並びます

食事の様子 テーブル中央には花が活けてありました

社協とつか編集委員が行く！
社協とつか編集委員が取材にいきました

中学生と高齢者の世代間交流

戸塚第一地区

取材／社協とつか編集委員



ルールの説明を真剣に聞いている中学生

中学校の福祉委員会に所属する生徒が活動の一環として、60歳から88歳の方が活躍している戸塚区ターゲットバードゴルフ協会の皆さんにご指導いただき挑戦しました。

ターゲットバードゴルフとは、クラブ一本で、傘を逆にしたような籠にボールを入れて上がるゲームです。

当日は天候に恵まれ、小学校横の多目的広場には多くの会員が参加され、生徒・先生33名を迎え賑やかに催されました。

5人が一組になりコースを回りました。最初はぎこちなかった生徒も会員に指導していただき、コースを重ねるごとに上達しました。男子部員は少人数ながら上達は早かったです。女子部員も最後にはゴールを決めることができました。

会員のご厚意により男女とも1等から3等まで記念品をもらい、梅雨の晴れ間のようにさわやかな交流となりました。「また、挑戦したい」と話をしていました。

平成24年度 戸塚区社会福祉協議会 事業報告 ダイジェスト

* 身近な地域での福祉活動の推進・支援

地区社協への訪問回数 372回（17地区合計）

地区別に区社協事務局員を配置し、地区社協活動への支援を行いました。

* ボランティア活動の推進・支援

ボランティアセンターへの新規登録者／団体 112名／6団体

各種ボランティア講座の開催 8講座

ボランティア活動を始めたい方のための講座や、活動者・活動支援者向けの講座を開催しました。

* 福祉教育の推進

相談件数 12件

学校や企業から福祉教育を行いたいという相談を受け、開催方

法などを提案・調整しました。

福祉教育の研修・体験講座の実施 4回

区社協の主催で中高生への福祉体験講座や、横浜市内18区社協の共催で教員を対象とした福祉講座を開催しました。

* 助成金事業

助成金の交付を行った団体数 107団体

地域福祉・障がい福祉の推進を行う事業に対し、実施内容に応じた助成事業を実施しました。

* 福祉ニーズがある市民に対する支援

障がい福祉シンポジウムの開催 1回 参加者90名

区社協会員で構成される障がい福祉分科会の主催で、当事者の声を発信する場として、障がい福祉シンポジウムを開催しました。

戸塚区移動情報センターの運営

相談件数 42件（平成25年1月15日窓口開設）

障がい児・者の外出などの移動に関する相談・情報提供を行う窓口で、1月15日の開設から、多くのご相談をいただきました。

* 相談機能

権利擁護事業（あんしんセンター）

累計契約者数 37人 初回相談 69件

生活福祉資金

貸付 36件

* 広報・啓発

社協とつかの発行 年3回/計273,000部

全戸配布を行い、地域情報の発信に努めました。

ホームページのリニューアル

* 法人運営

正会員総数 511施設・団体 会議の開催 理事会 6回

評議委員会 4回

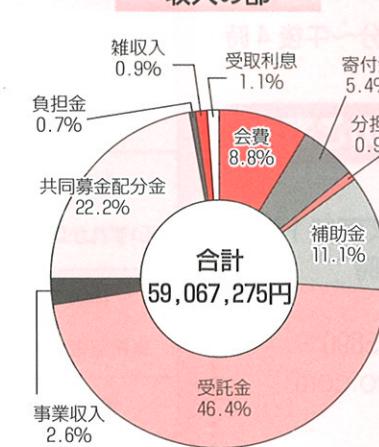
* 福祉保健活動拠点「フレンズ戸塚」の運営

登録団体 175団体 利用件数 3,074件

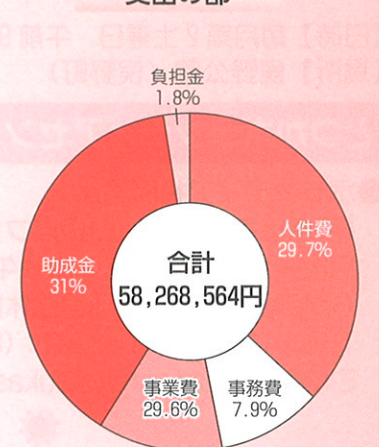
福祉保健活動団体の活動場所として活用されました。

平成24年度戸塚区社会福祉協議会 決算報告

収入の部



支出の部

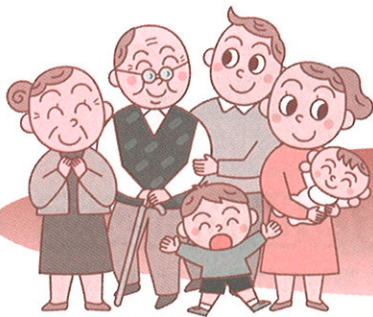


編集
後記

今号は10月からはじまる共同募金の特集を組みました。

社協とつか編集委員の取材記事は世代間の交流、高齢者同士のふれあいが各地域でそれぞれのスタイルで実施され、広がっていることを紹介しました。

編集長：天沼松次郎



ボランティア情報

2013年9月発行

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会
とつかボランティアセンター

♥ 募集情報 ♥

現在募集中のボランティア活動です。活動希望やお問い合わせは、とつかボランティアセンターまでご連絡ください。また、この他にも募集中の活動がありますので、ご相談下さい。

障がい

- ① 自宅⇄ホーム間の送迎車の運転
- ② 作業の補助、見守り

【日時】① 迎え／午前 8 時 30 分～午前 10 時
送り／午後 3 時 30 分～午後 5 時
② 午前 9 時 30 分～午後 3 時の間で応相談
【場所】NPO 法人活動ホームしもごう（戸塚町）

高 齢

- ① デイサービスでのお茶出し、レクリエーションのお相手
- ② 食事作りの手伝い

【日時】① 月～日曜日午前 10 時～午後 12 時、
午後 1 時～午後 4 時 30 分の間で応相談
② 木、金、土曜日
午前 10 時 30 分～午後 1 時
【場所】プチハウス（上倉田町） ◎ヨコハマいきいきポイント対象施設

児 童

- プレイパーク(子どもの遊び場)の手伝い

【日時】毎月第 2 土曜日 午前 9 時 30 分～午後 4 時
【場所】俣野公園（俣野町）

とつかボランティアセンターのご案内

● ボランティア相談窓口

（戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚 1 階）
月曜～土曜日 午前 9 時～午後 9 時
（※12月29日～1月3日は休館）
TEL：(866) 8483 FAX：(862) 5890
E-mail：volunteer@totsukashakyo.com



◆ ご案内 ◆

*** やりたいことみつける!! ***

ボランティア活動きっかけ講座

対 象：ボランティア活動をしたい人、関心のある人。
日 時：①平成25年10月24日(木)午前10時～午後12時
②平成25年12月11日(水)午前10時～午後12時
会 場：①フレンズ戸塚②とつか区民活動センター
申 込：電話で戸塚区社会福祉協議会へ、要予約・先着順

秋季入門手話講座

手話について楽しく学んでみませんか?

対象/定員：戸塚区内在住・在勤・在学の高校生以上の方/30名(先着)
日 時：平成25年9月28日から12月7日までの毎週土曜日(11月23日は除く)午後1時30分～3時30分
場 所：フレンズ戸塚 3F 多目的研修室
参 加 費：2,200円(テキスト代含む)
催 進：戸塚区社会福祉協議会、戸塚区聴覚障害者協会
申 込：往復ハガキに①住所②氏名(ふりがな)③年齢④電話・FAX番号⑤職業をご記入の上戸塚区社会福祉協議会「入門手話講座係」まで。9月20日(金)必着。応募多数の場合抽選(結果は返信ハガキにて)

こころのボランティア講座

こころの病への理解を深め、地域で精神障がい者に寄り添う

「こころのボランティア」として活動してみませんか?
対象/定員：戸塚区内在住・在勤・在学の方でこころの病について関心のある方/30名(先着)
内 容：全4回

	日 時	会 場	内 容
第1回	10月16日(水) 10:00～12:30	区役所 8階	精神科医師による講演
第2回	10月21日(月) 10:00～12:30	フレンズ戸塚	ボランティアとは? こころの病のある方との関わり方
第3回	10月28日(月) 13:00～15:30	フレンズ戸塚	当事者のつといに参加・交流
※いずれかに参加	10月30日(水) 13:30～15:30	区役所 8階	
体験 ※希望者のみ	10月22日(火)～ 11月12日(火)	アトリエ窓 ぎやべつ畑・窓 やまぶき工房 戸塚区生活支援センター	ボランティア体験(先輩ボランティアが同行します)
第4回	11月13日(水) 10:00～12:00	フレンズ戸塚	振り返り

参 加 費：無料(体験では昼食代がかかる場合があります)
申 込：9月12日(木)から9月27日(金)までに戸塚区社会福祉協議会「こころのボランティア講座係」まで電話・FAX・E-mailでお申し込みください。